

えひめの小学生のみなさんへ 保護者の皆様へ

～コロナとのたたかいで新たな差別を生まないために（ワクチン接種）～

みなさんは、これまで、仲間を大切にする学習をとおして、いじめや差別を許さず、その解決に向けて行動することのすばらしさを学んできました。また、「うそ」や「うわさ」をそのまま信じず、正しい情報をもとにして正しく判断し、行動することの大切さを学びました。

国内では、医療関係者の方をはじめ、高齢者の方などのワクチン接種が進み、12歳以上の子どもの接種が始まろうとしています。そこで、ワクチン接種について皆さんに知っておいてほしいことがあります。

- ・ワクチン接種は、感染拡大防止の効果があることと副反応などがあること。
- ・ワクチン接種をするかどうかを選ぶのは、自由だということ。
- ・身体的なことなど様々な理由から、ワクチンを接種できない人や希望しない人がいること。

ワクチン接種をしてもしなくても、みんなが仲よく安心して過ごせるよう、小学生のみなさんには、何ができるでしょうか。

【わたしたちにできること】

- ワクチン接種をしたかどうか、無理やり聞かないこと。
- ワクチン接種をするように、強く言わないこと。
- ワクチン接種をしたかどうかで、差別したりいじめたりしないこと。

たたかう相手は、ウイルスです。これからも、みんなで力を合わせていきましょう。

もし、みなさんが差別やいじめを見たり、あなた自身が傷ついたりしたときは、決して一人で悩まず、家族や友達、学校の先生などに相談しましょう。周りの大人の人は、必ずあなたたちの「力」になってくれます。電話で相談できる窓口もあります。

みなさんが、相手の立場に立って思いやり、互いに声をかけ合って強くつながることで、この困難をたくましく乗りこえてくれると信じています。

【24時間無料電話相談】

いじめ相談ダイヤル 24
0120-0-78310



【新型コロナウイルスに関する電話相談】

愛媛県総合教育センター（月～金：8:30～17:15）

- ★教育相談室 089-963-3986
- ★特別支援教育室 089-909-7424

保護者の皆様へ ワクチン接種が進む中で、「打たなければクビと言われた」「拒める雰囲気でない」などの切実な声が、相談窓口寄せられているそうです。接種はあくまでも「任意」であり、本人の意思が尊重されるべきです。子どもたちへの接種が始まろうとしているときに、「同調圧力」などによって新たな差別等を生み出すことがないよう、子どもをとりまく全ての大人が、想像力を働かせ、互いを思い合う言葉を積極的に発していくことが大切です。引き続き、国や県から出される最新の情報等を生活に生かしながら、子どもたちの見守りをお願いいたします。